

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E1440016		知的障害児教育演習 (Seminar of Education for Children with Intellectual Disabilities )															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員											
選択必修	2	3	教育学部			氏名 古長治基・田中新正・古賀精治 E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp, shimmasa@oita-u.ac.jp, skoga@oita-u.ac.jp 内線											
授業の概要	ダウン症を中心として知的障害児・者に大学に来てもらい、障害児・者のために研究・開発された指導法である動作法や遊びの指導を実際に行うことによって、知的障害児・者の実態把握と指導の仕方について学ぶ。																
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1 知的障害のある子どもの発達の実態を説明できる																	
目標2 知的障害児の動作についての指導方法を実践できる																	
目標3 知的障害児のコミュニケーションの特性について説明できる																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
授業の内容																	
1 知的障害児の保護者との面接の実際																	
2 知的障害児の発達検査の実際																	
3 知的障害児の発達検査のまとめ方																	
4 動作法の観点からみた実態把握																	
5 知的障害児のコミュニケーションの基礎的能力についての実態把握																	
6 知的障害児とのレポートの取り方																	
7 肢体不自由を併せ有する知的障害児とのレポートの取り方																	
8 知的障害児の遊びの指導																	
9 肢体不自由を併せ有する知的障害児の遊びの指導																	
10 動作法による身体の動きの指導(リラクゼーション1-他者に身をゆだねる-)																	
11 動作法による身体の動きの指導(リラクゼーション2-直の姿勢作り-)																	
12 動作法による身体の動きの指導(タテ系課題1-座位-)																	
13 動作法による身体の動きの指導(タテ系課題2-膝立ち-)																	
14 動作法による身体の動きの指導(タテ系課題3-立位・歩行-)																	
15 指導結果のまとめ方																	
ラーニング	A:知識の定着・確認	原則として一人の障害児を担当する。また受講者全員で遊びの指導を企画・実施する。					工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
時間外学習の内容と時間の目安	準備	指導の企画実施のための準備が必要となる(15h)															
	事後	指導後に、指導の記録をもとに振り返りを行う(15h)															
教科書	田中新正(2014)ダウン症の動作法・指導マニュアル・																
参考書	「特別支援学校教育要領・学習指導要領解説 自立活動編」 文部科学省 九州大学発達臨床センター(1991) 基礎から学ぶ動作訓練 ナカニシヤ出版 九州大学総合臨床心理センター(2015) 基礎から学ぶ動作法 ナカニシヤ出版																
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10					
	実技の課題到達度	60%															
	課題レポート	30%															
	教材・教具等の準備とその取組	10%															
注意事項	原則として特別支援教育コースの学生に限る。それぞれ一人の子どもを担当するので、社会的責任を自覚し、参加すること。運動できる服装で出席すること。																
備考	なし。																
リンク	URL																